

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 大木町立大溝小学校 】

1 実践テーマ	I ・ II (III) ・ IV ・ (V) (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第6学年 81名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (道徳科 ・ 体育科)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	パラリンピックなどの障がい者スポーツに取り組む人達についての学習や交流を通して、夢をもって努力する素晴らしさや夢を支えてくれる人達への感謝の心を感じ取り、これからの自分の生き方に生かそうとする心情や態度を育てる。
5 取組内容	<p>(1) 事前学習①；道徳科（1時間）</p> <p>希望と勇気、努力と強い意志「アンプティサッカーとともに」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけず努力して物事をやり抜こうとする心情を育てる。 ○ パラリンピックの概要を知るとともに、車いすテニスプレイヤー川野さんとの交流で学ぶ視点をもつことができる。 <p>① PV視聴を通して、パラリンピックや障がい者スポーツへの関心をもつ。</p> <p>② 障がい者スポーツを扱った資料を読み、困難を乗り越えた主人公の思いや考えに共感する。</p> <p>③ 車いすテニスプレイヤーのPV視聴により、体験学習への意欲を高め、学びの視点を持つ。</p> <p>(2) 事前学習②；課外（20分）</p> <p>事前学習①の感想を交流し、アスリートを支えた人達について</p>



でも考え、体験学習の目標を明確にする。

(3) 体験学習；道徳科・体育科（2時間）

① 講演「たくさんの支えの中で」（道徳科）

○ 車いすテニスプレイヤー川野さんの経験談を聴き、その思いに触れるとともに、支えてくれた人達への感謝の心を感じ取る。（写真②）



写真②



写真③

② 体験「車いすテニスに挑戦」（体育科）

○ 車いすテニスの実演を観たり、実際にやってみたりして、競技の内容を理解し、素晴らしさを感じ取る。（写真③）

川野さんのプレーの様子を見たり、競技用車いすに乗ってプレーをしたりすることで、車いすテニスについて理解し、興味を深める。（写真④）



写真④

また、友達がプレーしている姿を見て、競技の難しさや素晴らしさを感じる。

③ 質疑応答「障がい者スポーツや支えてくれる人達」

○ 講演や交流を通じて、感じたことや考えたことをもとに、自分の今後の生き方についての考えや思いをもつ。

(4) 事後学習；課外（20分）

体験学習後に感想を書き、その内容について交流することを通して、障がい者スポーツやそれに関わる人達、支える人達の取組や思いについて理解し、自分の生き方についての考えや思いを深める。

6 主な成果

(1) 事前学習でPVを活用したことで、視覚的に障がい者スポーツやパラリンピックの内容について捉えるとともに、資料を通して主人公に共感したことで、交流体験学習への意欲が高まった。

(2) 車いすテニスプレイヤーと直接触れ合い、経験談を聴いてその思いを感じたり、実際にやってみたりしたことで、障がい者スポーツへの理解や考えを深めるとともに、自分の今後の生き方についても思いを深めることができた。

【学習後の感想】

○ 川野選手は、今まできついことや辛いことがたくさんあったけど、諦めずに夢を追いかけているからかっこいいと思いました。僕も夢があるから、苦しいことがあっても諦めずに夢を叶えていきたいです。今日の話で夢をもつ大切さがよくわかりました。

○ 川野さんは、「夢や目標をもって人生を歩いていく」と言われました。私は目標はあっても絶対に達成しようという

	<p>熱い思いがなかったので、これからは、夢を強くもちたいです。川野さんの生き方を見習って、自分の人生を強く生きていきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 川野さんは、周りの人の支えがあったから立ち直れたので、周りの人の励ましや声掛けはすごい力を持っていると思いました。だから、周りの人がいつもと違う様子だったら声を掛けたいと思います。初めてあった人でも勇気をもって力になりたいです。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピックについては知っている子どもが多いが、パラリンピックや障がい者スポーツについては馴染みがなく、言葉だけ知っているという子どもがほとんどであったので、PVを活用して視覚的に捉えることができるようにした。 ※ ロンドンパラリンピックPV、選手本人のPV ○ 車いすは身近でも借りることができるが、競技用車いすは近隣の体育館等にはなかった。福岡市のアクション福岡まで借りに行き行って揃えた。 ○ 室内で実施するために、バレーボールの支柱にネットを低く張り、簡易のテニスコートを設けた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校は、総合的な学習の時間など、教育過程に組み込んでいないため、道徳科や体育科の時間を学習内容に合うようにして実施した。内容的に無理がある面も多く、特に、交流体験学習では課題が残った。時間枠の設定を考える必要がある。 ○ 時間の都合上、車いすテニスの体験ができた子どもが一部にとどまった。パラリンピアンとの交流では限られるが、事後の学習で時間を取り、学級毎に実施すれば、全員が体験することも可能である。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の学習に関しては、時間枠を広げて内容の充実を図る。また、調べ学習などに関連させて進めれば、より一層理解が深まり、関心も高まる。 ○ もっと多くのスポーツの素晴らしさに触れさせるために、オリンピック選手との交流や競技種目の増加、対象学年の拡大についても考慮していく。 ○ 水泳記録会や持久走大会、運動会、陸上記録会など、運動に関する学校行事との関連化を図ることで、より身近に感じられるとともに、スポーツへの関心を更に高めることができる。